

知の現場

▶26◀

日大工学部
コンクリート工学
岩城 一郎教授



橋の床部分にあたる鉄筋コンクリートの長寿命化を研究する岩城教授

地域の橋 地域で守る

高度経済成長期に多くが建設された道路などの社会インフラ。その老朽化に伴う事故を未然に防ぐため、予防保全や修繕推進を図る研究を行っている。また、地域住民と協働し、橋の維持管理を行い、地域が一体となって地域の橋を守る試みにも取り組む。

現在、橋の上を通る道路の床部分となる、鉄筋コンクリートの「床版」の余寿命予測や耐久性などを調査し、長寿命化の方策を

検討している。東北地方は凍結防止剤の作用による塩害や、凍害などが道路橋に悪影響を及ぼしている。こうした現状を踏まえ、日大工学部は東大と連携し、コンクリートに用いる材料や水とセメントの比率などが異なる6種類の実物大床版を作製。1年

間の実測データを収集し、各種耐久性試験を行い、100年先の耐久性を予測している。岩城一郎教授は「道路の利用状況や地域の環境に合った最適な床版を提供していきたい」と意気込む。一方、地域住民に地域の橋に愛着を持ってもらおう

と、修繕や点検が必要な橋を住民と塗装したり清掃したりするなど、橋を守る地道な活動も進める。また学生が中心となり、住民が橋の状態を把握できる点検チェックシートを作製。写真付きで亀裂や欠損などの状況を分かりやすく示し、異常があった場合の対応策を知らせている。岩城教授は「橋が廃れると地域が廃れる。地域の橋を地域で守っていききたい」と意欲を燃やす。

■いっさいはん 1歳半ぐらいの子どもの行動を紹介した絵本。「きれいなたべものが できたら



現在、1歳半ぐらいの子どもを持つお父さん、お母さんはもちろん、既に1歳

図書室

半時代を卒業した子どもを持つ人も「当時を思い出すといいとおしい」「かわいいし、懐かしい」と思うこと間違いなし。思わず笑ってしまうような1歳半の「あるあるネタ」が満載の1冊。(岩崎書店・1200円)

■うんどうかいがなんだ! かけっこが苦手なブブタンは運動会が嫌い。「やすんじゃおうかな」と思ったけど、ボンスケから「やすんじゃダメ!」「ブブタンがやすんだらオレがどりになっちゃうだろ」って言われたことが悔しくて、一生懸命、練習した。

運動会の日、ボンスケに負けないよう必死に走るブブタン。二人三脚では、ブブタンとボンスケがペアを組むことに。さて結果は? 奮闘する2人がほほ笑ましい。(新日本出版社・1296円)

教育・子育て

火曜掲載



さまざまな「点」を講

こども新聞サも新聞代表のこいて知り、「自あるべきか」をけ発信しようとした。テーマは「社会」「平和な「だれもが仲良方も都会も元気さしい社会」「なるの?」の六



被爆者の和につい



河合さん(手と一緒に、外人たちの不便

「会」を目標とすと呼び掛け。議論の成果を壁新聞にまとめて臨んだ全体発表では、「個性を認め合う社会」の実現を訴えた。